



第10回山口市スマートシティ推進協議会議事 説明資料

- (1)「山口市スマートシティ推進ビジョン」について
- (2)山口市におけるスマートシティの進捗状況について
 - ①重点プロジェクト
 - ②分科会の活動
- (3)山口市におけるWell-beingの考え方について

【参考】関連KPI(重要業績評価指標)



令和5年12月20日

山口市総合政策部 スマートシティ推進室

(1) 「山口市マートシティ推進ビジョン」について

「スマートシティ推進ビジョン」策定の目的

今後、予測される人口減少と 少子高齢化などの社会情勢の変化とともに、働き方や暮らし方の意識が変化中、あらゆる地域に住み続けることができるように、様々な分野における課題に対応していくことが求められています。

こうしたことから、スマートシティの推進を通じた本市の目指すべき姿や取組の方向性等をビジョンとして位置付け、デジタル社会や脱炭素社会などの新しい時代の流れへの対応を進めることで、地域課題の解決や地域経済の活性化を図り、地方創生の取組を更に加速化させるため、「山口市スマートシティ推進ビジョン」を策定しました。

山口市では、市民生活の利便性やニーズなどの視点を第一に考えつつ、デジタル化等を通じて市民の皆様の安全安心や生活の質の向上を図るため、スマートシティを推進することとしています。

目指すまちの姿

誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち 山口
～スマート“ライフ”シティ 山口～

本ビジョンにおいては、生活者の視点を第一に考えたデジタル化を通じて、市民の安全安心や生活の質の向上、幸せづくり、また、地域経済の活性化に向けた取組を進めていくこととし、「誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち 山口～スマート“ライフ”シティ 山口～」を目指すまちの姿とします。

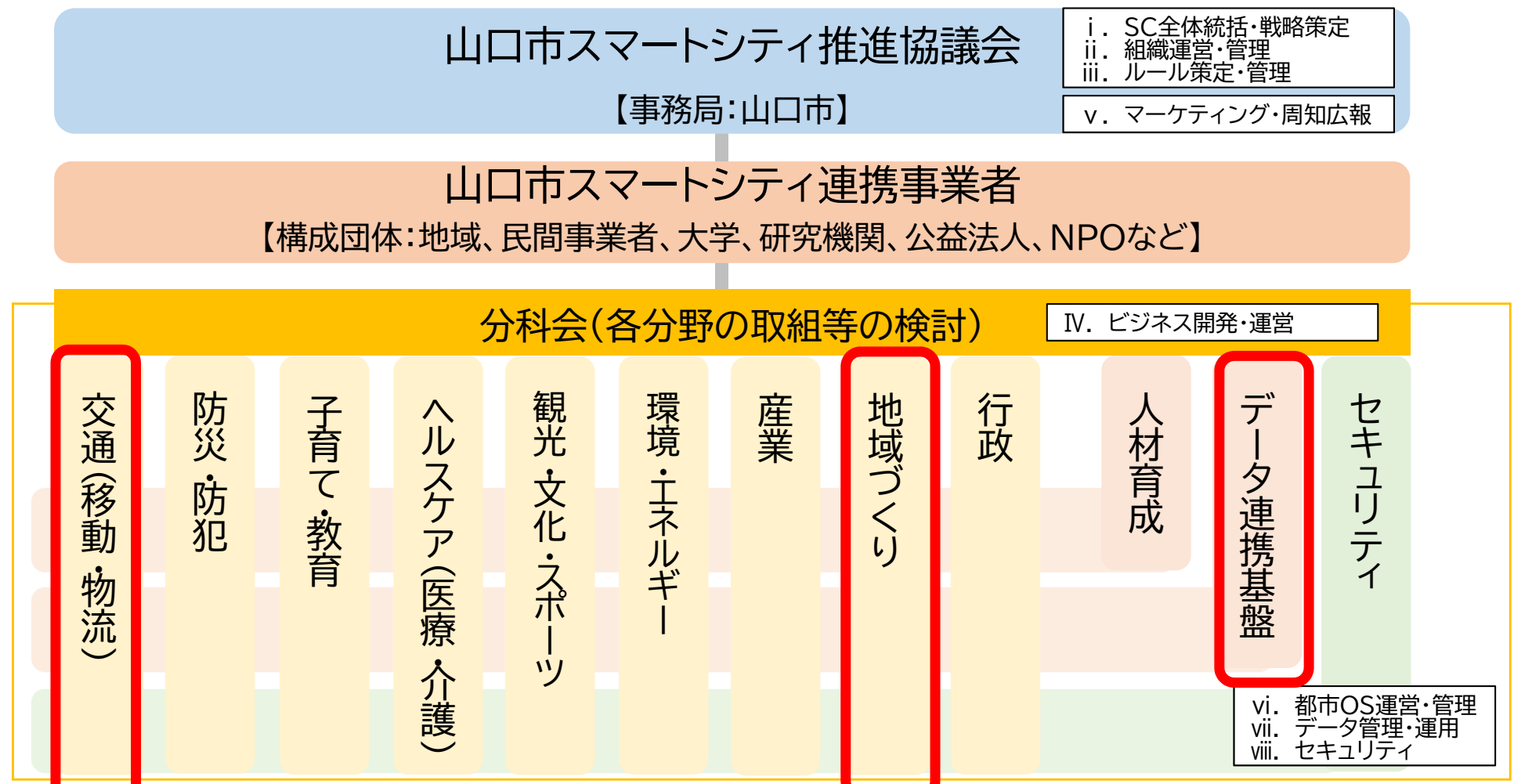
重点プロジェクト

民間事業者等からの事業提案をもとに、スマートシティ推進協議会における事業内容の整理・検討を行いました。そして、以下の[14の重点プロジェクト](#)の具体化に向けた検討を進めています。

NO	分野	プロジェクト名
1	DX社会基盤	新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト
2	交通(移動・物流)	最適な移動を実現するまちプロジェクト
3	防災・防犯	逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト
4	子育て	親が元気に活躍するまちプロジェクト
5	教育	生涯学び・活躍プロジェクト
6	教育	豊かな学びをはぐくむプロジェクト
7	ヘルスケア(医療・介護)	元気いきいきプロジェクト
8	観光	おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト
9	環境・エネルギー	地域脱炭素推進プロジェクト
10	産業	地域産業・経済活性化プロジェクト
11	地域づくり	スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト
12	行政	行かなくてもいい市役所プロジェクト
13	DX社会基盤(人材育成)	スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト
14	地域づくり	山口モデルのスーパーシティ構築プロジェクト

分科会の設置

山口市スマートシティ推進ビジョンの推進に当たっては、交通、行政、子育て・教育など暮らしを支える様々な分類における課題解決に向けて、スマートシティ連携事業者を中心とした分野ごとの分科会を設置し、具体的な施策・サービスの社会実装を行っていきます。



(2) 山口市におけるスマートシティの進捗状況について

①重点プロジェクト

重点プロジェクト1 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆データ連携基盤(都市OS)の構築に向けた取組の推進

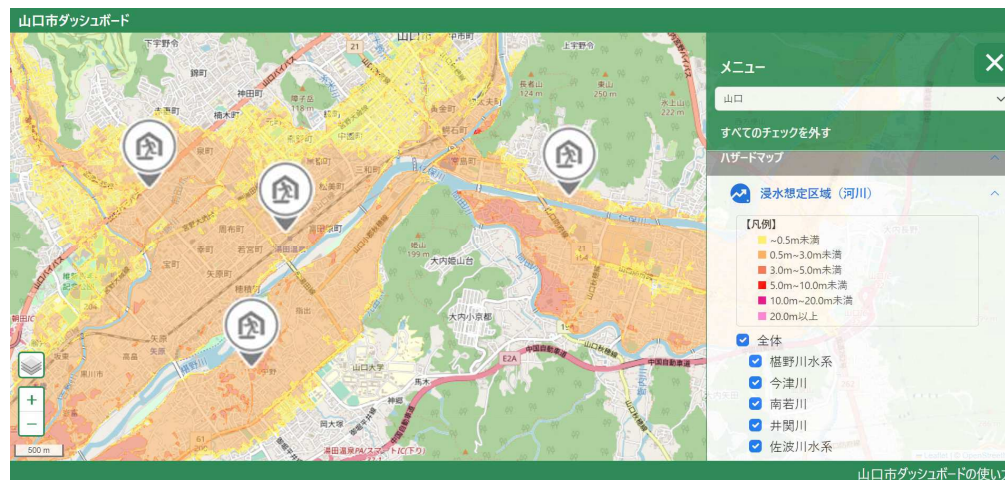
- 令和5年3月に、データ連携基盤(都市OS)の構築とともに、それを活用するため「山口市ダッシュボード」を整備し、まずは、市民生活の安全安心の確保に向けて、防災分野の情報(ハザードマップ、気象情報、河川水位、避難情報)を連携しました。
- 複数分野の情報の連携による新たな価値を創造するため、観光分野(イベント情報)や、交通分野(シェアサイクル情報)、行政情報(公共施設情報)などの情報の連携を進めています。

【山口市ダッシュボード閲覧者数】

R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
5,359	2,498	8,834	3,338	1,335	923

【令和5年度追加情報】

分野	追加予定データ項目
交通	シェアサイクルポート情報(空き情報)
観光	イベント情報(山口カレンダー情報)
行政	各種公共施設位置情報
産業	ちよるPay利用可能店舗



山口市ダッシュボード

今後の方向性(案)

住民の安全安心の確保に向けて、有害鳥獣対策や防災情報の発信などのデータ連携基盤を活用した取組の検討を進める予定です。

重点プロジェクト2 最適な移動を実現するまちプロジェクト

昨年度及び今年度の取組

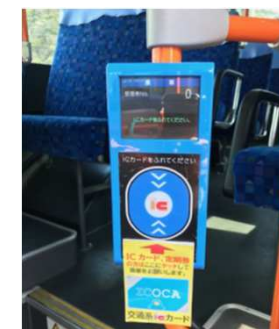
◆ICOCA・交通系ICカードの利用拡大(導入の促進)

- JR西日本において、令和5(2023)年春から新たに、山陽線の新南陽駅から下関駅の間の20駅において、また、山口線の湯田温泉駅及び山口駅の2駅において、交通系ICカードが利用できるようになりました。
- また、バス事業者において、順次、交通系ICカード利用システムを導入しています。



【交通系ICカード導入状況】

導入年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
導入事業者	中国ジェイアールバス	宇部市交通局	防長交通(コミバス等)	防長交通(市内全路線)



◆タクシー配車アプリの利用開始

- アプリ1つで市内タクシーの位置確認や、タクシーの手配が可能となるシステムの構築を進めています。
- 本アプリは、連携事業者でもある株式会社REAが県「やまぐちデジタル実装モデル創出業務」の選定を受けて構築をしています。(R6.4運用開始予定)

<タクシー手配までの流れ(イメージ)>



重点プロジェクト2 最適な移動を実現するまちプロジェクト

◆シェアサイクルの利用拡大

- ・ 実証中のシェアサイクルのポート及び自転車を増設しました。(シェアサイクルポート:34ポート、自転車:100台)

山口エリア		寺内公園	
香山公園前観光案内所 駐輪場	山口県立大学グラウンド側交差点	史跡大内氏遺跡駐車場	
山口県庁前バス停	山口ふるさと伝承総合センター	山口市役所 駐輪場	
山口市民会館前交差点	山口県立図書館 駐輪場	新町商店街(千歳橋)	
山口井筒屋	一の坂川交通交流広場	山口駅 駐輪場	
山口駅西交差点 駐輪場	コープやまぐちこことどうもん店駐輪場	山口県労働者福祉文化中央会館	
ニューメディアプラザ山口 駐輪場	山口市教育委員会 駐輪場	防長苑	
サンフレッシュ山口 駐輪場	ファミリーマート山口泉都町店	井上公園	
湯田温泉駅 駐輪場	ホテルニュータナカ	アルク平川店	
山口大学(正門)	維新公園レノ丸ステーション	プリムールあおい 駐輪場	
	コープやまぐちここと店舗駐輪場		
小郡エリア		アルク小郡店	
KDDI維新ホール 駐輪場	小郡総合支所 駐輪場	平成公園 駐輪場内	
	風の並木通り(新山口駅南口)		

【利用状況】

	登録者数	のべ利用者数	月利用回数 (1日あたり)
R3.8	1,202人	120人	361回 (11.6回)
R4.8	2,822人	334人	843回 (27.1回)
R5.8	5,763人	450人	1,175回 (37.9回)

【貸出回数上位10ポート】

順位	ステーション名	貸出回数	返却回数
1	山口駅 駐輪場	118	118
2	湯田温泉駅 駐輪場	108	114
3	ホテルニュータナカ	92	96
4	井上公園	75	84
5	山口大学	70	75
6	山口市教育委員会 駐輪場	64	55
7	アルク平川店	64	63
8	山口市役所 駐輪場	58	51
9	山口県庁前バス停	48	31
10	ファミリーマート山口泉都町店	48	47

【利用区間上位10ポート】

順位	利用開始ステーション名	返却ステーション名	利用回数
1	ホテルニュータナカ	ホテルニュータナカ	36
2	山口県庁前バス停	山口駅 駐輪場	30
2	湯田温泉駅 駐輪場	山口大学	30
4	山口駅 駐輪場	山口駅 駐輪場	25
5	山口大学	湯田温泉駅 駐輪場	23
6	湯田温泉駅 駐輪場	湯田温泉駅 駐輪場	20
7	防長苑	山口県労働者福祉文化中央会館	19
8	寺内公園	一の坂川交通交流広場	18
9	井上公園	井上公園	17
9	アルク平川店	アルク平川店	17
9	山口駅 駐輪場	山口県庁前バス停	17

※令和5年8月利用実績

重点プロジェクト2 最適な移動を実現するまちプロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆MaaS用ウェブアプリ「ぶらやま」を活用した圏域の周遊促進につながる取組

- 山口県、長門市、宇部市及び美祢市と連携し、MaaS用ウェブアプリ「ぶらやま」を活用した圏域の周遊促進につながる取組を進めています。(新たなモビリティサービスの調査・実証事業)(R2～R6年度)
- 公共交通の利用促進に向けて、「ぶらやま」におけるデジタルチケットの充実や、シェアサイクル実証事業と連携した取組を進めています。



【「ぶらやま」利用実績】

	対象エリア	サービス提供数	アカウント登録数	デジタルチケット販売枚数
令和3年度(R3.7-R4.3)	山口・萩・長門	56種	2,660人	3,829枚
令和4年度(R4.4-R5.3)	山口・萩・長門・宇部・美祢	36種	6,109人	4,804枚

今後の方向性(案)

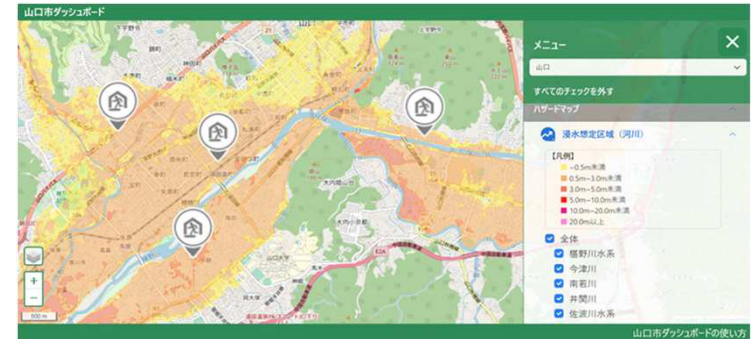
引き続き、シェアサイクルの利用拡大や他のMaaSアプリとの連携等の検討など、利用者の利便性向上に向け、地域の特性に応じた公共交通ネットワークの再構築を進めます。

重点プロジェクト3 逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆「山口市ダッシュボード」での防災情報の提供

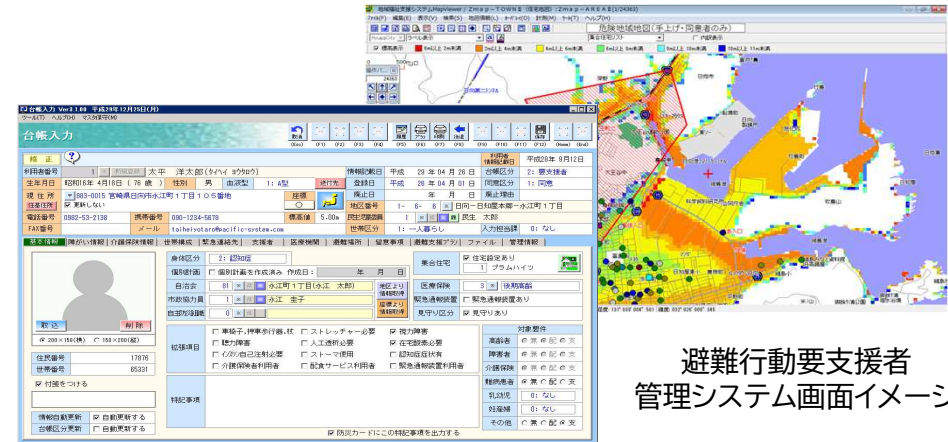
- 1つの地図上に、ハザードマップや気象情報、河川水位、避難所情報等についての情報を一元的に表示できる地図ダッシュボードの整備をしました。(再掲)



山口市ダッシュボード (再掲)

◆避難行動要支援者等管理システムの導入

- 避難行動要支援者名簿を基にした個別避難計画(避難マイプラン)の作成・更新を行うとともに、関係機関との情報共有を一元的に管理できる「避難行動要支援者等管理システム」を消防本部、各地域交流センター等に導入しました。



避難行動要支援者管理システム画面イメージ

◆総合防災情報システムの導入

- 災害時における災害対応力の強化に向けて、災害対策本部(本庁)と総合支所、各地域交流センター間において、災害情報をオンラインで情報共有でき、各種気象情報や河川カメラ映像等も行うことができる「総合防災情報システム」の構築を進めています。

今後の方向性(案)

令和6年度に運用開始予定の「総合防災情報システム」と「山口市ダッシュボード」との連携を通じて、より迅速かつ的確な情報発信が可能となる体制の構築に向けた検討を進める予定です。

重点プロジェクト4 親が元気に活躍するまちプロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆子育て支援アプリ「やまここby母子モ」の機能拡充（子育て情報の配信やオンライン相談、オンライン予約）

- 母子健康手帳を補完する、無料で利用可能な子育て支援アプリ「やまここby母子モ」において、子育て情報の配信やオンライン相談を行うとともに、新たに、講座などをオンラインで予約できる機能を追加し、子育て世代の負担軽減を図りました。
- 子育て支援アプリ「やまここby母子モ」において、新たに、妊娠届をオンラインで提出できる機能を追加し、妊婦の手続きに係る負担軽減や利便性の向上を図りました。
- 妊娠8か月アンケートをオンラインで実施し、出産から産後に向けての心配事などを相談できる体制を整えました。

【「妊娠届」オンライン提出者・割合】

時期	届け出件数(人)	オンライン提出件数(人)	紙提出件数(人)	オンライン割合(%)
7月	86	80	6	93
8月	82	78	4	95
9月	79	77	2	97
10月	92	87	5	95

【「やまここ」登録者数】

時期	R3.7/1	R5.11/29
登録者数	670	3,625



今後の方向性(案)

引き続き「やまここby母子モ」を活用し、妊産婦・子育て世帯・子どもへの一体的な相談・支援を行い、そうした方の負担軽減につなげていきます。

重点プロジェクト5 生涯学び・活躍プロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆リカレント教育を含めた生涯学習の充実

- 山口市ビジネススキル向上・コミュニティ形成事業として、幅広い人材がこれからのデジタル社会に適応していくため、コミュニティの形成を通じ、必要なビジネススキルの習得と向上に取り組める環境を提供しています。

令和4年度参加者数

延べ91名

- 山口市中小企業人材育成応援補助金として、市内企業の役員または従業員のために業務上必要なスキルの習得やリカレント教育の導入を促進するための補助を行いました。

令和4年度交付実績

25件

◆図書館利用者カードのデジタル化

- 図書館利用者カードを持ってこなくても図書館サービスが利用できる仕組みづくりとして、スマートフォンやマイナンバーカードを図書館利用者カードとして使用できるサービスを開始しました。



=



図書館利用者カード

スマホやマイナンバーカードが図書館利用者カードに！

今後の方向性(案)

引き続き、図書館やYCAMなどと連携し、山口の特色を生かした多様な学習機会の場を提供していく予定です。

重点プロジェクト6 豊かな学びをはぐくむプロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆学校内での学びを充実させるための取組

- ・ 児童・生徒、1人ずつに配布しているタブレット(PC)の端末に授業支援ソフトを導入しました。
- ・ 学校と保護者間の連絡手段のデジタル化システムを運用開始しました。

◆学校内での学びを充実させるための取組

- ・ ICT機器を活用した授業の推進を図るため、各教室に電子黒板を設置してる中で、音楽の授業でも、映像や音声などを使った授業の実施が可能となるよう、市立小・中学校の音楽室においても、順次、電子黒板の設置を進めています。

◆「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の実施

- ・ 「360°図鑑」の取組を市内全ての市立小学校で展開するとともに、市立中学校における文化祭でのICT活用を図る取組や、教職員の指導力向上を図るための研修(YCAMプログラム)を実施します。



「360° 図鑑」



文化祭でのICT活用の取組

「未来の山口の授業 at School」として
第17回キッズデザイン賞優秀賞 経済産業大臣賞受賞

今後の方向性(案)

子どもたちの表現力や想像力、また、プログラミング的思考をより高めるよう、教育現場でのDX支援やYCAMと連携した「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」に取り組んでいきます。

重点プロジェクト7 元氣いきいきプロジェクト

昨年度及び今年度の取組

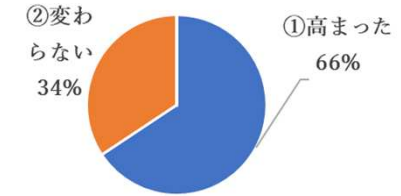
◆個人に応じた健康づくりや健康管理等に向けた健康データの連携

- 各個人に配布したウェアラブル端末を通じて、日々の生活における健康データを把握する取組を行いました。
- 通いの場での取組やウォーキングなどといった健康プログラムにつなげてもらえるよう、ウェアラブル端末の操作方法等の支援をしました。



ウェアラブル端末

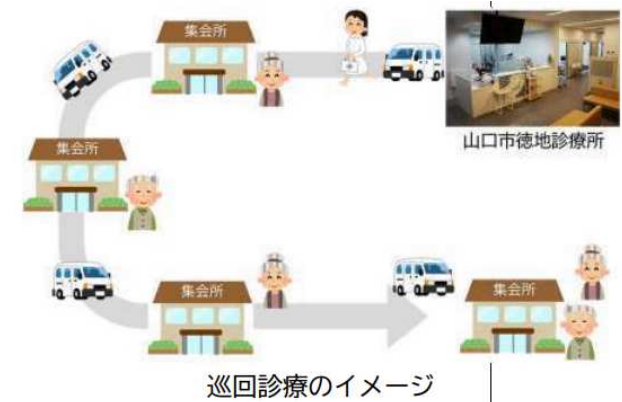
取組の前後で健康に対する意識は高まりましたか？



アンケート結果(一部抜粋)

◆無医地区での遠隔医療システムを通じた医療提供体制の確保

- 無医地区(医療機関のない地域)である三谷地区等において、医療提供体制を確保するため、市徳地診療所の診療看護師が巡回診療車により各地区の集会所等に出向き、市徳地診療所の医師が車載の遠隔診療システムを通じて診察を行っています。



今後の方向性(案)

自身の健康状態を把握するシステムの構築など、健康意識の向上に向けた取組の検討を進める予定です。



山口市徳地診療所

重点プロジェクト8 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆デジタル観光ツアーアプリ等を活用した新たなサービスの提供

- 観光客のニーズを捉えたデジタルプロモーションを進めるとともに、デジタルクーポンの発行などによる本市への誘客促進・リピーターの獲得、とりわけ、観光閑散期の誘客を促進する取組を進めています。併せて、おもてなし事業として、手ぶら観光の実施や、湯けむり手形の発行を引き続き進めています。
- 「山口カレンダー」を構築し、市内観光関連事業者と連携し、SNSの機能等を活用した情報発信と旅行者ニーズの把握を図るデジタルプロモーション・マーケティングの実施のほか、ビッグデータの活用による観光誘客クーポンの発行や、周遊促進プランの検討など、リピーターやロイヤルカスタマー※の創出に向けた取組を進めています。

※ロイヤルカスタマー:「愛着をもっている顧客」「商品・サービスを長期的に利用してくれる顧客」



観光客数は前年比21%増加

観光客		
山口市全体	4,076,064人	前年比121%
うち宿泊	710,434人	前年比135%
うち日帰り	3,365,630人	前年比118%

主な観光地と観光客数		
湯田温泉	617,478人	前年比144%
香山公園(五重塔)	522,105人	前年比138%
SLやまぐち号	17,460人	前年比91%

※R4年観光客動態調査結果より抜粋

重点プロジェクト8 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

◆スマート空港タクシー事業の充実

- 山口宇部空港から山口市内中心部までの間を乗り換えなしで移動できるモビリティサービスでダイナミックプライシング(価格変動制)を適用した取組を支援するとともに、市内の乗降エリアを拡大し、利便性の向上を図りました。

【利用実績】

	R3年度	R4年度	R5年度(～9月まで)
運用件数	466件	1,015件	653件
乗車人数	568人	1,259人	725人
乗合率	17.55%	22.13%	29.40%

山口宇部空港⇄山口市中心部行き

スマート空港タクシー

最短1分 簡単ウェブ予約! 当日予約OK! 飛行機発着3時間前まで予約可能!

おひとり様 通常片道料金 ¥10,000 ▶ ¥3,500~

目的地を **ダイレクト**につなぐ乗合タクシーで
移動をもっと快適に、もっと安く!!

- 山口市と空港を結ぶ唯一の直行便
- おひとり様 片道3,500円~
- クレジットカードで簡単オンライン決済
- 当日・直前の予約もOK
- 重い荷物の移動もラクラク!
- 安心の感染症対策

今後の方向性(案)

インスタグラムやX(旧Twitter)などのSNSを活用し、旅行者の属性やニーズに沿った情報発信を行うなど、リピーターの獲得や、新たな観光客の確保に向けた取組の検討を進めていきます。

重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆脱炭素先行地域への選定

- 令和4年11月に、本市が県内で初めて国から「脱炭素先行地域」に選定をされました。
- この脱炭素先行地域の対象エリアである、「中心市街地エリア」では、現在、「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」に基づく取組を進めている中で、脱炭素先行地域の取組と、中心市街地の活性化の取組を連携・融合することにより、まちなか居住の促進や中心商店街の活性化など、まちづくりの相乗効果につなげていきます。

脱炭素先行地域選定証授与式において、西村環境大臣(当時)から伊藤市長に選定証が授与された時の様子(令和4年12月) ▶



◆地域新電力会社の設立に向けた調整

- 電力の地産地消を可能とする地域新電力会社の設立に向けて調整を進めています。

地域新電力会社の役割

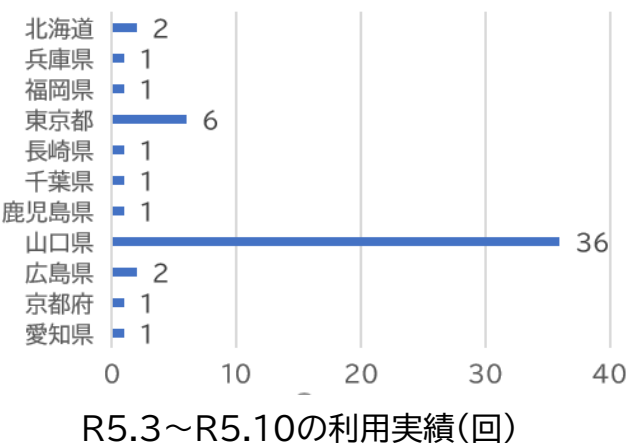
- ・清掃工場の廃棄物発電をはじめとした地産による再生可能エネルギーの安定供給
- ・太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの普及拡大
- ・避難所における災害時のレジリエンス化

重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

◆EVカーシェアリングやシェアサイクルの導入の促進

令和4年10月～令和5年2月に、中心市街地における駐車場コスト、車自体の維持管理コストが大きな負担となっている現状を踏まえ、米屋町天神駐車場でカーシェアの実施を行いました。

・合計利用回数:53回
 ・最多利用回数:15回(60代女性)



米屋町天神駐車場で実証中のカーシェア (R4. 10. 25～) (TOYOTA C+pod)

令和5年9月から、平日は市職員が公用車として使用し、土曜と祝日に利用可能な市民が利用できる電気自動車(EV)のカーシェアリング事業の実証を始めました。

R5.9～R5.11の利用実績(回)

車種	利用実績(9～11月)
bz4x (写真左)	31回
C+pod (写真右)	12回

※対象日数:30日



市役所前庭で実証中のカーシェア (左)bz4x (右)C+pod

今後の方向性(案)

公用車を活用したEVカーシェアやシェアサイクルの実証を継続するとともに、市民や事業者へ地域脱炭素の取組を広く周知していきます。

重点プロジェクト10 地域産業・経済活性化プロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆お金の地域内循環に向けた山口デジタル地域通貨の導入促進

- 「山口市デジタル商品券等共通プラットフォーム」を構築し、住宅リフォーム工事に対する商品券(安心快適住まいの助成事業)の発行などデジタル商品券の発行を支援し、市内消費喚起を図っています。
- 「安心快適住まいの助成事業」ではデジタル商品券を選択した場合、5%上乘せし、デジタル商品券の推進を進めています。

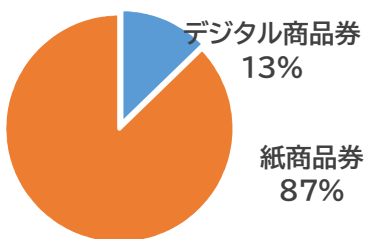


図. R4プレミアム商品券のデジタル・紙発行割合

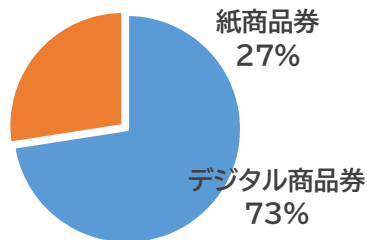


図. R4「安心快適住まいの」デジタル・紙発行割合

募集開始
令和5年 5月15日(月)～

安心快適住まいの助成事業

令和5年度

◆要件◆

- 1 新築後1年以上経過している住宅(個人・法人)
- 2 工事金額が10万円以上(消費税別)
- 3 山口市内施工業者と直接契約して行う工事
山口市に本社又は本店所在地を有する法人
山口市に住所を有する個人事業者

◆助成額◆

紙商品券で受取の場合
助成対象となる工事金額の10%

デジタル商品券で受取の場合
助成対象となる工事金額の15%

利用案内 デジタル商品券登録説明会・相談窓口

説明会	相談窓口
日時 4月26日(水) 9:00～12:00 13:00～19:00 場所 東条交流スペース MagRibu 山口市東条町1丁目1-1 TEL 083-925-2300	日時 4月27日(木)28日(金) 9:00～12:00 13:00～19:00 場所 山口商工会議所5階ホール 山口市東条町1-10 TEL 083-925-2300

【相談先及びお問合せ先】 山口県央農工会
阿知漢支所 ☎0836-65-2129
山口商工会議所 ☎083-925-2300
徳地商工会 ☎0835-52-0025

【デジタル商品券に関するお問合せ先】
カスタマーセンター ☎083-481700-7814(8)
☎0120-978-625 9時10分～17:00
【助成に関するお問合せ先】
山口市ふるさと産業振興課 ☎083-934-9719

スマホ利用型プレミアム食券

今年5月に延長して登場!!
長く使える「くうのむ」
ちよるPayで食って飲んで!!

湯田・山口・小郡・阿知須

くうのむ
ちよるPay
KOU KUMU CHORU PAY

スマホ利用型プレミアム飲食券

くうのむ ちよるPay

ちよるPay 購入

◆デジタル技術を活用した持続可能な農業の実現

- 農業における労働力不足の解消、農業経営の効率化や生産性の向上に向けて、デジタル技術を活用したスマート農機を始めとした農業機械等の導入を支援しています。



防除用ドローン



直進アシスト機能付トラクタ

今後の方向性(案)

更なる地域経済の活性化に向け、デジタル地域通貨の利用方法の検討を進めていきます。

重点プロジェクト11 スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆公衆無線LANの増強、デジタル技術の活用講座

- 地域交流センター(分館含む)に公衆無線LANの増強整備を実施しました。

◆デジタル活用支援機能の強化

- 地域の団体や企業等と連携し、地域交流センターを中心に、デジタルに不慣れな方へのスマートフォンの使用方法等に関する講座を開催するとともに、地域内でのデジタル活用支援の仕組みづくりの検討を行っています。

令和4年度開催実績

約100回

- 老人クラブ会員によるICT活用の推進に向けた講座や、ICTリーダーの育成、ICTを活用した事業など、老人クラブ活動の活性化に向けた取組を支援しています。



スマホ相談教室

今後の方向性(案)

引き続き、地域交流センターを中心にデジタル活用支援の講座等を実施するとともに、地域交流センターにおける多様な世代の居場所づくりやデジタル活用支援機能など、気軽に相談できる環境の整備に向けた検討を進めていきます。

重点プロジェクト12 行かなくてもいい市役所プロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆行政手続きのオンライン化等の推進

- 粗大ごみ戸別収集の申し込み及び手数料決済のオンライン化の本格運用を開始しました。(R4.4利用開始)
- 山口市LINE公式アカウントの機能強化を図りました。

◆行政手続きのオンライン化等の推進

- 山口市LINE公式アカウントのUI(ユーザーインターフェース)の改善および機能強化(観光・交通・子育て分野など)を進めます。

時期	R3.4末	R4.3末	R5.3末	R5.10末
LINE登録者数	14,881	20,601	23,791	26,062

- 「転出届/転入予約」のオンライン申請を開始するとともに、「国が推奨する手続き」や「申請届出数が多い手続き」などのオンライン化を順次進めています。
- オンライン申請に係るアクセス性の向上のため、電子申請手続きを集約して案内するポータルサイトの構築を進めています。
- 固定資産税・都市計画税および軽自動車税を対象に、納付書のQRコード※を読み取り、地方税お支払いサイトを通じて、電子納付が可能となりました。(※「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)



山口市LINE公式アカウント

今後の方向性(案)

新本庁舎供用開始に向け、引き続き、行政手続等のデジタル化を進めていきます。

重点プロジェクト13 スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト

昨年度及び今年度の取組

◆デジタル人材の育成に向けた取組

- ・ 民間企業と連携しメグリバを基点に、クリエイターやエンジニア等の育成を図りました。(G's ACADEMY)
- ・ ネットワーク形成事業として、デジタル人材の可視化、デジタルを勉強中の人たちやデジタルを生業としている事業者のコミュニティの形成を目的に交流会やイベントを開催しました。
- ・ 産業全体のDXの裾野を広げることを目的とし、圏域内の事業者のデジタル化への変革の契機と捉えてもらうための、デジタル化促進セミナーやアドバイザー派遣を実施しました。
- ・ 市内企業のDX促進に向けて、セミナーの開催やアドバイザーの派遣を行うとともに、デジタル技術を活用した生産性向上・新サービス開発の取組を支援しています。
- ・ デジタル人材のネットワーク化や、ネットワーク強化のための人材育成を図ることで、起業創業や市内企業等のDX促進につなげるとともに、大都市圏から仕事を獲得する仕組みづくりを構築していきます。

<R4実績>

デジタル窓口相談	セミナー参加者	アドバイザー派遣
43事業者延べ94件	140名(全7回)	21事業者延べ31回



デジタル人材育成に向けたセミナーの様子

今後の方向性(案)

引き続き、商工団体や民間事業者等と連携し、市内企業のDXの推進やデジタル人材の育成を、メグリバの人材育成機能・Y-BASE等の活用を通じて進めていきます。

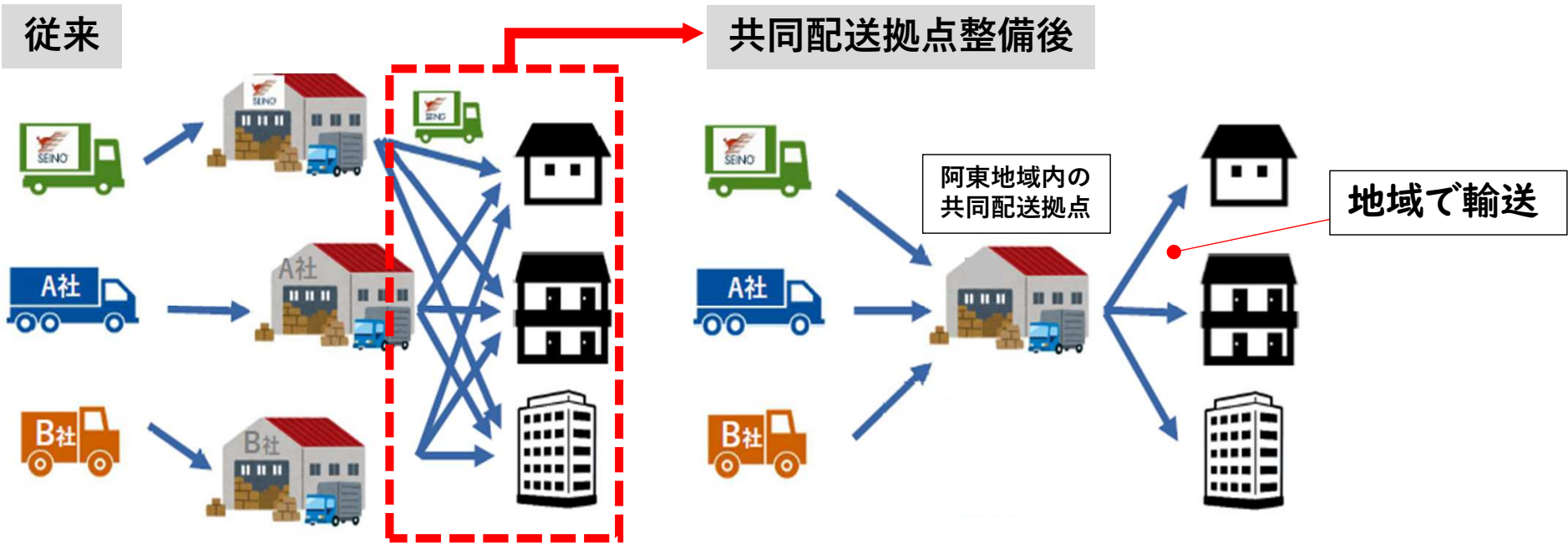
重点プロジェクト14 山口モデルスーパーシティ構築プロジェクト

■進捗状況(主な取組)

今年度の取組

◆阿東地福地区での共同配送拠点整備に向けた取組

- 物流の2024問題に関し、阿東地域では宅配がこれまで通りの頻度で行われなくなるなどの危機感があります。地域内に配送の拠点を整備し、地域内を共同配送することにより、輸送サービスを維持します。



- 物流各社は、配送需要の多い市街地に労働力を割くことが可能。阿東地域では、宅配頻度の維持に加え、地域内の「モノ」の輸送に関する仕事(雇用)の創出が期待できます。
- トラック台数、配送距離の減少による二酸化炭素排出量削減にも貢献します。

◆共同配送を基軸とした「ハイブリット配送」に向けた取組

- 共同配送では効率が悪いエリアについては、配送効率を高めるための輸送手段としてドローンの活用を検討しています。

【配送実証の実施】

11月14日に、セイノーホールディングス株式会社、株式会社NEXT DELIVERY、山口市の3者共同事業として、ドローンの飛行実証を実施しました。

将来の「レベル4」でのドローン自動航行及び社会実装を目的に、まずは短期の「レベル3」自動航行による実証を実施した形となります。



AirTruckの詳細スペック



詳細スペック			
展開時寸法 (m)	1.7×1.5×0.4	最大飛行時間 (分)	約50*1
機体重量 (kg)	10	最高速度 (km/h)	40
最大離陸重量 (kg)	25	最大飛行距離 (km)	20
ペイロード (積載量) (kg)	最大5	搭載Boxサイズ (mm)	W320×D260×H200

*1 ペイロード3.5kg、バッテリー22,000mAh×4本使用時

今後の方向性(案)

引き続き、物流の2024問題に関し、地域内に配送の拠点を整備し、地域内を共同配送することにより、持続性のある仕組みを検討していきます。

②分科会の活動

分科会を設置し、各分野での取り組みについて専門的な視点から検討を行っています。

1. データ連携基盤活用分科会

■目的 現在、構築に向けて取り組んでいるデータ連携基盤について、進捗状況の共有、今後の活用や運用方針を検討

■構成 松野会長、杉井副会長、NTT西日本グループ等

重点PJ
1

2. 最適な移動を実現するまち分科会（交通分科会）

■目的 タクシー協会において検討している共同配車システムの導入に係る検討やこれまで取り組んでいるMaaSの取組を中心に協議

■構成 鈴木委員、杉井副会長、交通事業者等

重点PJ
2

3. 阿東スマートビレッジ分科会

■目的 昨年スーパーシティの提案について協議を進めていた阿東地域において、市内の他の地域への横展開が図られるような、スマートシティの取組をスモールスタートする

■構成 松野会長、高田委員、阿東地域内でデジタル技術を活用した取組を進めている事業者等

重点PJ
14

1. データ連携基盤活用分科会

松野会長・杉井副会長にも御意見をいただきながら、データ連携基盤の構築・運用事業者であるNTT西日本・NTTビジネスソリューションズと新たな価値の創造に向けた議論を行っています。

■成果

①今年度のデータ連携基盤の改修内容の決定

令和4年度に連携した防災分野に加え、令和5年度は観光分野(イベント情報)、交通分野(シェアサイクル情報)、行政情報(公共施設情報)などの情報を追加予定。現在、具体的な連携方法等を精査中。

②「スマート “ライフ” シティ山口」加速化事業補助金の設立

本市のスマートシティの取組の加速化につなげるため、スマートシティサービスの実装に向けて取り組む民間事業者等に対して交付する補助金を創設。

◆認定事業

【採択事業者】 NTT西日本 山口支店

【内容】 「人流データによる市内交通アセット活用促進」

人流データとシェアサイクルの利用実績データを分析し、市内アセット(交通)の活用促進を促すために必要な機能を検討する取組。

2. 最適な移動を実現するまち分科会（交通分科会）

第1回「最適な移動を実現するまち分科会」(交通分科会)を開催しました

1 日 時:令和5年7月26日(水曜日)13時00分～14時30分

2 場 所:山口市役所 第7会議室(3階)

3 議 題:

(1)山口市スマートシティ 推進ビジョンについて

(2)本市におけるスマートシティの取組について

①データ連携基盤(都市OS)の構築

②交通分野

(3)新たな取組(案)について

・データ連携に関するロードマップ(案)

・新たな取組(案)について

役職	所属	氏名
会長	交通ジャーナリスト・山口市公共交通委員会 副委員長	鈴木 文彦
委員	国立大学法人山口大学 国際総合科学部 学部長	杉井 学
委員	西日本旅客鉄道株式会社 山口地域共生室 室長	能登 一明
委員	山口地区タクシー協会 会長	大隅 正和
委員	防長交通株式会社 乗合営業部長	河合 貴志
委員	中国ジェイアールバス株式会社 運輸部運輸課 主席・生活交通活性化推進室 室長	渡瀬 千博
オブザーバー	中国運輸局 山口運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整・観光担当)	舘 昭憲
事務局	山口市総合政策部スマートシティ推進室、山口市都市整備部交通政策課	

3. 阿東スマートビレッジ分科会

第1回「阿東スマートビレッジ分科会」を開催しました

1.日時:令和5年8月29日(火曜日) 16時00分~17時00分

2.場所:山口市役所 第7会議室

3.議題:

阿東地域における各種取組について

(1)「Well-Being」の取組について

(2) 地域内サーバの構築によるデータ利活用について

(3)「過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化事業」について



役職	所属	氏名
会長	山口大学 副学長	松野 浩嗣
委員	NPO法人ほほえみの郷トイトイ 事務局長	高田 新一郎
委員	有限会社First Class 代表取締役	明日香 健輔
委員	株式会社アイシン 電子センター電子先行開発部 主査	後藤 浩次
オブザーバー	セイノーホールディングス株式会社	案野 晃一
		中矢 健一郎
		藤原 和也
事務局	山口市総合政策部スマートシティ推進室 山口市阿東総合支所地域振興課 山口市総務部デジタル推進課	

3. 阿東スマートビレッジ分科会

阿東スマートビレッジの考え方

デジタル技術を活用して課題を解決することが目的ではなく、人の暮らしに寄り添い、誰もが笑顔で安心して暮らし続けるために何が必要かという視点で、デジタル技術の活用を考える。



3. 阿東スマートビレッジ分科会

阿東地域におけるデジタル技術の活用

- ・地域住民の生活に寄り添う
- ・人口減少によるコミュニティの低下を補完する
- ・デジタルの活用ありきではなく人の暮らしを中心に考える

課題解決への取り組み

草刈りロボット LPWAの活用検証 スマートデバイスによる健康維持

物流課題への実証(ドローン配送等) 地域モビリティ実証など

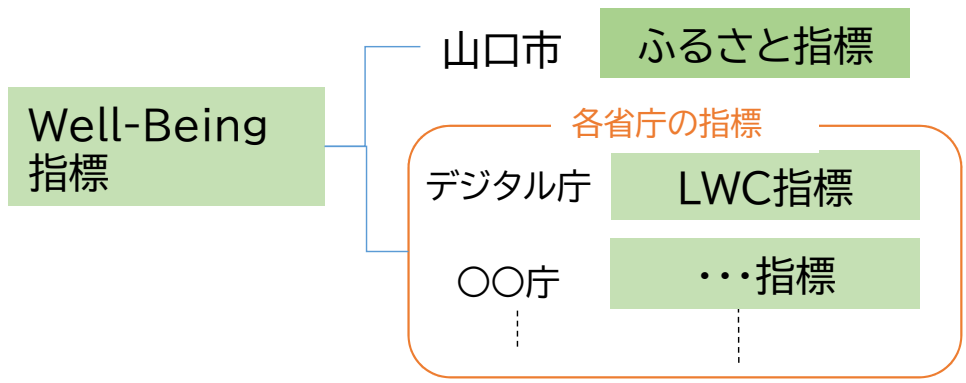


地域での実証データを蓄積、活用できるしくみを構築することで地域のウェルビーイングを高めながらスマートビレッジを目指す。

(3) 山口市におけるWell-Being指標の考え方について

山口市におけるWell-Being指標の考え方について

- 本市では、H30年度から独自のWell-Being指標として、「ふるさと指標」を策定し、年1回実施する「まちづくりアンケート」を通じて、山口市や市内21地域の特性を踏まえた、市民目線での数値化や可視化を行ってきており、その結果を**本市の政策立案にも活用**しています。
- 一方で、デジタル技術を活用したスマートシティの分野で使われるスマートシティ・インスティテュート（日本のスマートシティの拡大と高度化に貢献するために設立した社団法人）が策定している地域幸福度指標（LWC指標）があり、この指標は、デジタル技術を活用したスマートシティの取組の結果、市民の「暮らしやすさ」「幸福感」にどう繋がっているかを図ることを目的としています。
- 「ふるさと指標」と「地域幸福度指標（LWC指標）」では、類似する設問も多いことから、「まちづくりアンケート」のアンケート設問を、LWC指標の因子に紐づけることにより、地域幸福度指標も算出し、他市との比較なども行いながら、本市の政策立案に活用する予定です。



山口市でH30年度に導入したWell-Being指標。
山口市や市内21地域の特性を踏まえ、市民目線での数値化や可視化を行い、本市の個性の磨き上げを始めとした政策立案などに活用。

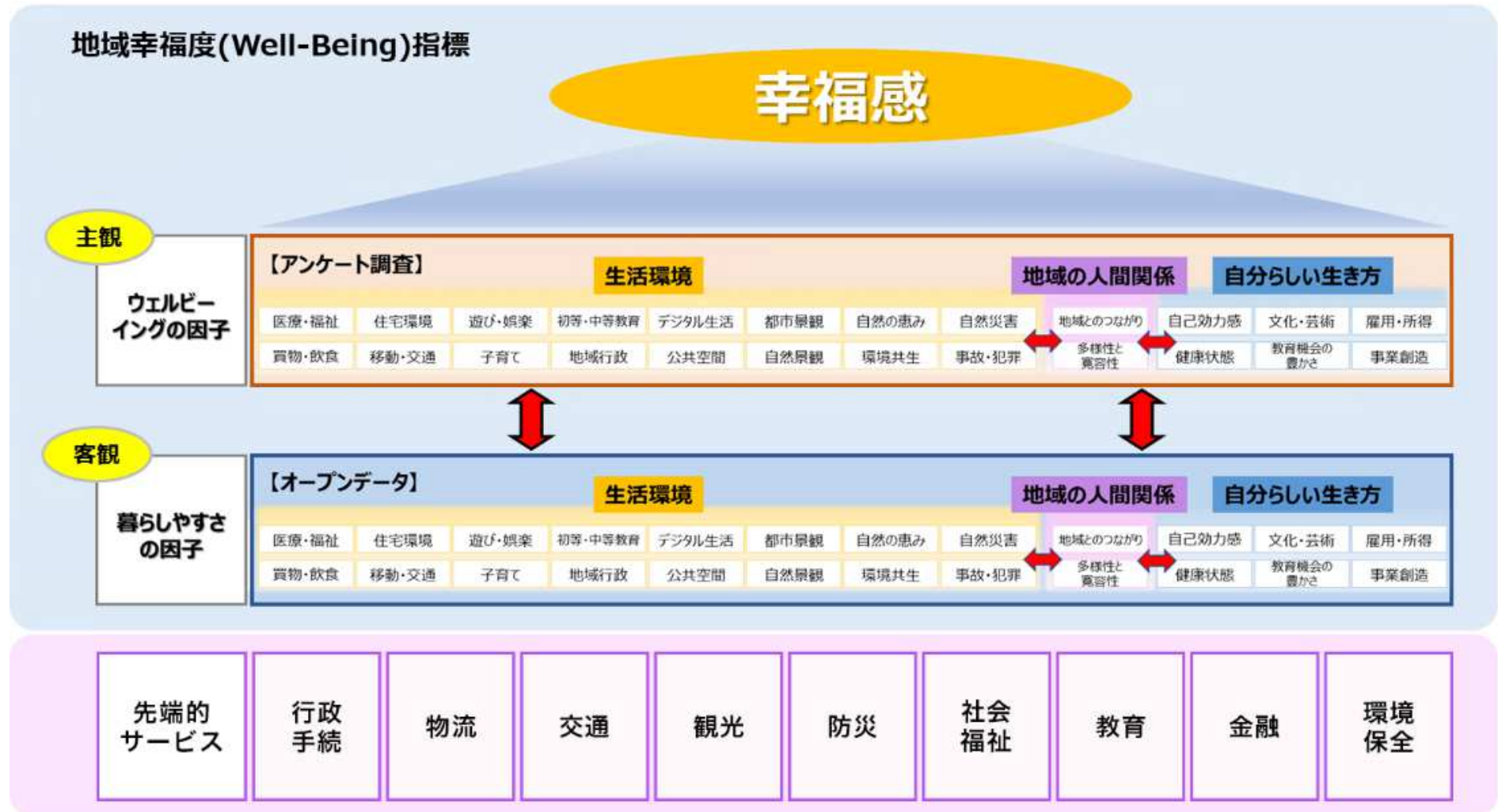
デジタル庁が採用している全国画一的にWell-Being指標。
デジタル化・スマート化による市民の「暮らしやすさ」「幸福感」を数値化・可視化するための指標。他市との比較などに活用。

まちづくりアンケート(ふるさと指標)		紐づけ	地域幸福度指標(LWC指標)
問16. あなたは、山口市は医療、福祉が充実していると思いますか	→	医療・福祉	暮らしている地域は、医療機関が充実している
問17. あなたは、夜間や休日、祝日の救急医療体制に満足していますか			
問55. あなたがお住まいの地域は消防・救急体制が整っていて安心できますか			
問89. 現在の満足度	→	医療・福祉	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい
問16. あなたは、山口市は医療、福祉が充実していると思いますか			
問23. [65歳以上の方]あなたは、山口市の介護サービスが充実していると思いますか			

LWC(Liveable Well-Being City)指標とは

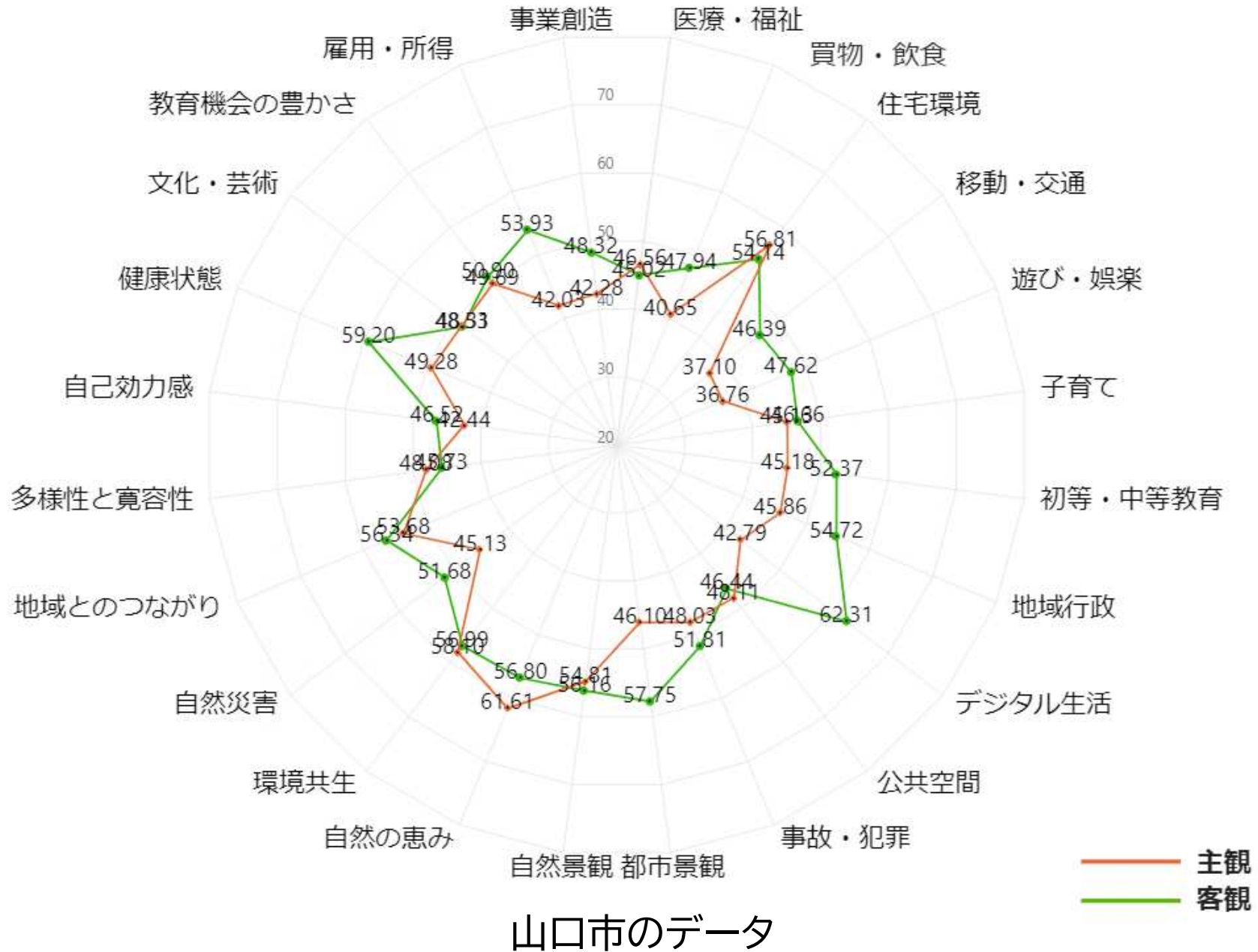
スマートシティ・インスティテュートHPより抜粋

一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが策定したWell-Being指標で、地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問と、3つの因子群(“生活環境”、“地域の人間関係”、“自分らしい生き方”)から構成され、因子群は合計24のカテゴリーに細分化されます。



Well-Beingアンケート（客観）結果
 （一般社団法人スマートシティ・インスティテュート R5実施）

スマートシティ・インスティテュートHPより抜粋



【参考】 関連K P I （重要業績評価指標）

【KPI(重要業績評価指標)】

重点プロジェクト1 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027)年 度
日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合	59.8%	60.5%	65.0%	64.6%	67.0%
住まいの地域の住みやすさ	88.6%	88.8%	86.2%	90.0%	-
未来技術の活用件数	-	18件	19件	向上	向上

重点プロジェクト2 最適な移動を実現するまちプロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027)年 度
市内での車の移動が円滑であると思う市民の割合	76.1%	76.7%	76.5%	76.8%	78.0%
公共交通機関の利便性に満足している市民の割合	54.1%	53.2%	54.3%	55.6%	57.5%
日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合【再掲】	59.8%	60.5%	65.0%	64.6%	67.0%

重点プロジェクト3 逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027)年 度
災害への備えをしている市民の割合	42.3%	40.9%	56.2%	37.0%	40.0%
災害の面で安全に暮らせていると感じている市民の割合	62.1%	63.9%	55.1%	57.0%	60.0%
治安がよく、安心して住めると思う市民の割合	95.7%	95.5%	96.3%	維持	維持

【KPI(重要業績評価指標)】

重点プロジェクト4 親が元気に活躍するまちプロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
子どもを安心して生み育てられる環境が整っていると思う、子どもを持つ親の割合	53.1%	59.3%	67.3%	67.0%	70.0%
働きやすく、生活とのバランスがとれたまちだと思う市民の割合	48.1%	48.2%	33.1%	52.0%	55.0%
ファミリー世代の転入超過	311人/年	-	-	転入超過を維持	転入超過を維持

重点プロジェクト5 生涯学び・活躍プロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
65歳以上で仕事や余暇の時間に生きがいを持って過ごしている人の割合	56.7%	61.2%	54.2%	74.6%	77.3%
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	26.4%	27.3%	28.0%	28.2%	30.0%
生涯を通じ、学びの環境が整っていると感じる市民の割合	68.3%	67.0%	65.1%	68.0%	-

重点プロジェクト6 豊かな学びをはぐくむプロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
学校生活を楽しんでいる児童の割合	89.7%	90.1%	89.4%	91.4%	92.0%
学校生活を楽しんでいる生徒の割合	90.0%	90.5%	88.6%	91.4%	92.0%
地域において子どもが健全に育成されていると感じている市民の割合	45.4%	43.6%	40.9%	43.8%	45.0%

【KPI(重要業績評価指標)】

重点プロジェクト7 元気いきいきプロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
医療体制が充実していると思う市民の割合	79.9%	80.2%	76.8%	82.0%	85.0%
介護サービスが充実していると思う高齢者の割合	43.8%	47.8%	47.3%	53.8%	54.1%
地域福祉活動で共助(相互扶助)ができていると思う市民の割合	33.5%	33.6%	33.2%	42.0%	45.0%
日頃から健康や介護予防のために行っていることがある市民の割合	57.0%	58.8%	51.5%	60.0%	63.0%

重点プロジェクト8 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
観光客数	3,040,552人	3,357,705人	4,076,064人	6,000,000人	6,000,000人
山口市の文化・芸術・歴史に誇りや愛着を持っている市民の割合	62.2%	60.7%	57.6%	68.5%	70.0%
スポーツに触れる(観戦する・行う・体験する)機会に恵まれていると思う市民の割合	67.3%	70.8%	67.2%	76.2%	78.0%

重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	74.1%	77.7%	76.8%	74.8%	76.0%
地球温暖化対策を意識して生活している市民の割合	81.0%	69.3%	70.1%	72.0%	80.0%
再生可能エネルギー等利用設備を設置または設置を予定している市民の割合	16.8%	18.1%	22.2%	22.5%	25.0%

【KPI(重要業績評価指標)】

重点プロジェクト10 地域産業・経済活性化プロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
市内事業所数	—	8,041	—	維持	維持
市内事業所の従業者数	—	91,246	—	維持	維持
本市の耕地面積(ほ場整備面積)	4,209.1ha	4,209.1ha	4,209.1ha	4,319.6ha	4,484.5ha
市内大学生等の県内企業就職内定率	34.6%	38.4%	38.5%	維持	維持

重点プロジェクト11 スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
住んでいる地域での良さや課題が地域住民の間で共有(認識)されていると思う割合	42.8%	42.1%	45.8%	47.6%	50.0%
公共施設が利用しやすいと思う市民の割合	61.7%	61.7%	57.9%	61.2%	63.0%
住まいの地域の住みよさ【再掲】	88.6%	88.8%	86.2%	90.0%	—

【KPI(重要業績評価指標)】

重点プロジェクト12 行かなくてもいい市役所プロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
住んでいる地域での良さや課題が地域住民の間で共有(認識)されていると思う割合	42.8%	42.1%	45.8%	47.6%	50.0%
公共施設が利用しやすいと思う市民の割合	61.7%	61.7%	57.9%	61.2%	63.0%
住まいの地域の住みよさ【再掲】	88.6%	88.8%	86.2%	90.0%	—

重点プロジェクト13 スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト

指標名	実績値 令和2(2020) 年度	実績値 令和3(2021) 年度	実績値 令和4(2022) 年度	中間目標値 令和6(2024) 年度	最終目標値 令和9(2027) 年度
生涯を通じ、学びの環境が整っていると感じる市民の割合【再掲】	68.3%	67.0%	65.1%	68.0%	—
従業者数【再掲】	—	91,246人	—	維持	維持